

第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

映像：郭永東牧師



前奏	540	会衆
頌栄		会衆
主の祈り		会衆
ブレイズ	「感謝と喜びを」 「イエスのように」	司会
聖書朗読	使徒言行録 19:23-27 (新約聖書 p 252)	司会
祈禱 賛美	新生 363	司会
メッセージ	「手で造ったものなどは 神ではない」	会衆
祈禱 賛美	聖歌 218	牧師
祈禱 賛美 金告	新生 672b	牧師
献金 報		会衆
頌祝		司会



第二礼拝次第

メッセージ：アドリアン・アルセ師

司会：エゼキエル・アルセ兄

Come and see. Let's praise the Lord



ファミリー礼拝

聖書：コレト 12:9~14

メッセージ：「コレトの解放の言葉」

2020年11月22日(第4主日)

<卷頭言>

「主の召命に応える」

牧師 渡真利彦文

テラとその家族はカルデヤ人の地ウルに住んでいました。ある時、主はこのテラをお召しになりました。その召命に応えたテラは住み慣れたウルを出発します。この時、創世記は「息子アブラム」、「孫ロト」、「息子アブラムの妻サライ」とテラに同行した家族の名前を紹介しています。それもすべて、テラを中心とした表現です。確かに主の召命に従うことは「主と私との一対一の関係」の中で起こることでしょう。しかし同時に、それは家族に対しても大きな影響をもたらすことになります。あなたの日々の歩み、日々の選択は、あなた自身と大切な家族の歩みに祝福をもたらすものとなっているでしょうか。

ある時、主はアブラム（後のアブラハム）に「あなたの生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい」と言われました。「離れる」とは、「出る」「分離する」ということです。主がアブラムに求めたことは、新しい地に行くために、まず「生まれ故郷」、「父の家」から離れることでした。それは、今まで彼自身が慣れ親しんでいたものから離れることがでした。主の召命に応えていこうとする時、それまで大事にしてきたものを捨てたり、従来のやり方や生き方から離れることが必要となります。それはしばしば苦痛が伴うものでしょう。主の召命に応えるために、あなたは何から離れる必要を感じますか。